

SkyVisualEditorオンラインセミナー

～第9回 基本編～

プロファイルやレコードタイプごとに
ページ割り当てよう

2015年1月13日（火）

株式会社 **テラスカイ**

TerraSky

本セミナーの目的

SkyVisualEditorの機能および設定方法の紹介を目的としています

本日のセミナーのご対象者

- ・ プロファイルやレコードタイプに応じて画面を切り替えたいとお考えのご担当者様
- ・ SkyVisualEditorの「ページ割り当て」の設定にお困りのご担当者様

本セミナーのゴール

「ページ割り当てテンプレート」を使い、画面の作成および設定方法を理解する。

※ SkyVisualEditorの製品概要については以下をご覧ください。
(<http://info.skyvisualeditor.com/>)

SkyVisualEditorのコンテンツについて

SkyVisualEditorの設定ガイドやTipsなどのコンテンツをWebで公開しています。是非、ご活用ください。
(<http://info.skyvisualeditor.com/developer/beginner/>)



 導入編

SkyVisualEditorを使って、Salesforceをより効果的に活用しよう。

Step1：導入しよう

これからSkyVisualEditorを利用し始める方に。

- 全操作方法が記載されたマニュアル → [操作マニュアル](#)
- 基本的な操作方法をご紹介する動画 → [画面開発手順](#)
- はじめてSkyVisualEditorを利用される方は、このスタートアップガイドをご覧ください → [スタートアップガイド](#)

Step2：定着化をはかろう

多くのSkyVisualEditorユーザーが活用している画面の作成方法をまとめました。

- [検索画面を作成しよう](#)
- [使いやすいワークフロー画面を作成しよう](#)
- [Salesforceで見積作成画面を作成してみよう](#)
- [Salesforceのレックアップ画面を使いやすいようにしよう](#)
- [Force.com Sites上に資料請求フォームを作成しよう](#)

Step3：もっと活用しよう

こんな使い方があったんだ！という、SkyVisualEditorの一步進んだ利用方法をお伝えします。

- [SkyVisualEditorの便利な機能 その1](#)
- [SkyVisualEditorの便利な機能 その2](#)

1. ページ割り当てについて

2. ページ割り当てを使った画面の作成方法

3. 作成した画面をつかってみよう

※ 本セミナーの詳細な内容は以下操作マニュアルをご覧ください。

(https://www.skyvisualeditor.com/help/skyvisualeditor_help.pdf)

※ 当資料のロゴや設定画面はSalesforceのバージョンアップによって変更する可能性があります。

1. ページ割り当てについて

2. ページ割り当てを使った画面の作成方法

3. 作成した画面をつかってみよう

ページ割り当てテンプレートについて

Salesforceの「ページレイアウトの割り当て（※）」機能と同様に、ユーザに表示される画面を割り当てることができます。ユーザに表示される画面は、そのユーザのプロファイルによって決まります。またレコードタイプを使用している場合は、ユーザのプロファイルとレコードタイプの組み合わせによって、表示される画面が決まります。

レコードタイプA

レコードタイプB

プロフィールA

画面A
(Salesforce標準ページ
レイアウト)

画面B
(Salesforce標準ページ
レイアウト)

プロフィールB

画面C
(SkyVisualEditorで
作成した画面)

画面D
(SkyVisualEditorで
作成した画面)

※ Salesforceの「ページレイアウトの割り当て」については、以下をご覧ください。

(https://help.salesforce.com/apex/HTViewHelpDoc?id=customize_layoutassign.htm&language=ja)

ページ割り当てのイメージ（プロフィール毎の割り当て）

同一の記録を見る際に、SkyVisualEditorで作成した画面を利用するヘビーユーザのプロファイルBにはSkyVisualEditorの画面を、それ以外のユーザプロフィール（プロファイルA）にはSalesforceの標準ページレイアウトを割り当てたときのイメージは以下の通りです。

▼ Salesforceの標準ページレイアウト

▼ SkyVisualEditorで作成した画面

申請番号	TS-00001	申請部署	営業部
申請日	2014/01/01 [2015/01/01]	申請者名	田村 太郎
得意	得意購入先会社		
申請理由(購入理由)	業務上の必要により、新規の機器を購入いたします。なお、ライセンスが確保されていることを確認しております。		
取得機器の品名と数量	2014/01/01 [2015/01/01]	2015/01/01 [2015/01/01]	
購入先(受注先)	株式会社ABC		
購入予定日	2014/01/01 [2015/01/01]		
支払予定日	2014/01/01 [2015/01/01]		
取扱申請の有無	あり / なし		
注意事項	申請内容が正しいことを確認してください。承認が必要です。		
合計	75,000	消費税	6,000
合計	81,000		

品名	仕様・品番	単価	数量	単位	金額
業務用PC(2014年度)	Model:ABC	75,000	1	台	75,000
				—台—	—
				—台—	—
				—台—	—



プロファイルA



プロファイルB

1. ページ割り当てについて

2. ページ割り当てを使った画面の作成方法

3. 作成した画面をつかってみよう

ページ割り当て画面の作成方法

以下は、SkyVisualEditorでページ割り当て画面を作成する際の流れです。
本日は以下手順にそって、ページ割り当て画面の作成方法を紹介いたします。

1. オブジェクトの選択



2. ページ割り当て



3. 画面のデプロイ



4. デプロイ後の設定

1. オブジェクトの選択



2. ページ割り当て



3. 画面のデプロイ



4. デプロイ後の設定

1. オブジェクト（テーブル）の選択

SkyVisualEditorスタジオへのログイン後、メニューエリアの[ファイル]-[新規]をクリックし、レイアウトマネージャより、「[テンプレート]ページ割り当て」を選択します。
ページ割り当て画面を作成したいオブジェクトを選び、必要に応じてVisualforceページ名を設定し、[OK]をクリックします。今回は、カスタムオブジェクトの申請オブジェクトでページ割り当てをしたいので、オブジェクトは[申請]を選びます。



※ SkyVisualEditorスタジオへのログイン方法は、以下をご覧ください。
(<http://www.terraSky.co.jp/document/download/skyvisualeditor-web1.php>)

1. オブジェクトの選択



2. ページ割り当て



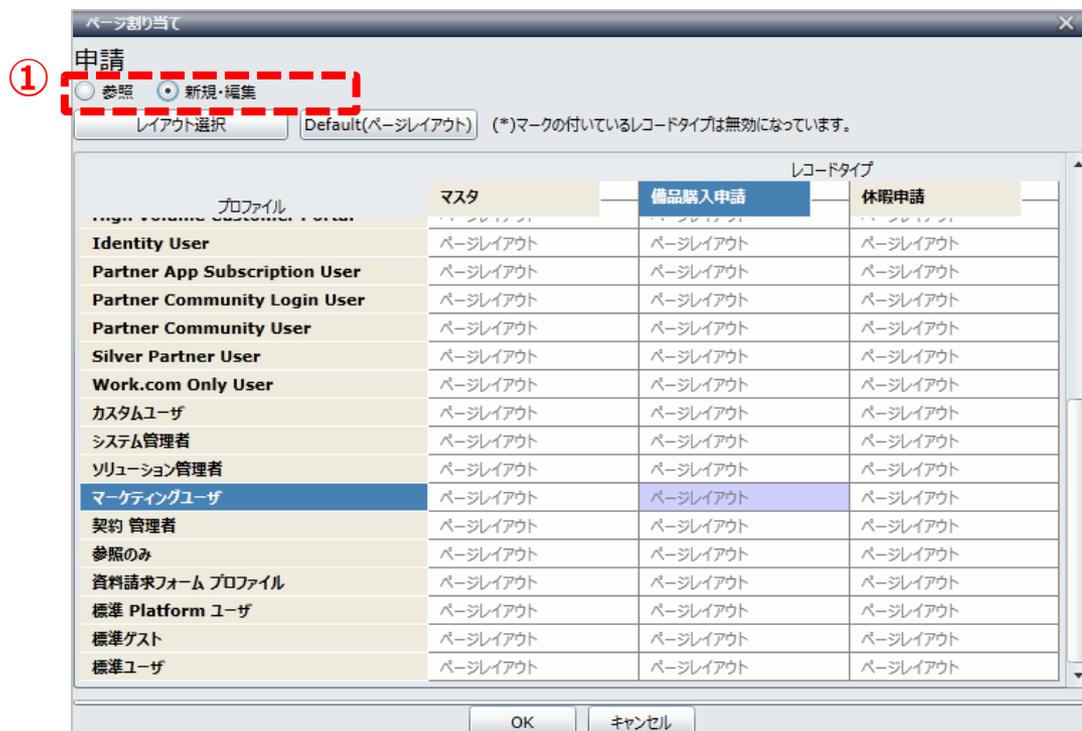
3. 画面のデプロイ



4. デプロイ後の設定

2. ページ割り当て（新規・編集/参照の選択）

「[テンプレート]ページ割り当て」を選択すると、以下の画面キャプチャが表示されます。
SkyVisualEditorの場合、Salesforceの標準ページレイアウトの設定と異なり、新規・編集画面と参照（表示）画面それぞれにページ割り当て画面を作成する必要があります。
まず①より、設定する割り当ての画面に応じて「参照」もしくは「新規・編集」を選択します。
ここでは「新規・編集」を選択します。



2. ページ割り当て（画面の割り当て）

プロフィールとレコードタイプに応じて画面を割り当てます。

まず、画面を設定したいセル、列、または行のヘッダーを選択します。キーボードの「Ctrl」キーを押しながらマウスで画面を設定したいセルを選択することで複数のセルを一括で選択できます。（①）

画面を設定したい範囲が選択できれば、次に②の[レイアウト選択]ボタンをクリックします。

③のページレイアウト選択画面が表示されますので、設定したい画面を選択し、[OK]をクリックします。

最後に、④の[OK]ボタンをクリックし、設定は完了です。

なおレイアウトを選択しない場合（ページレイアウトのまま）、Salesforce標準ページが表示されます。

② 申請

レイアウト選択

プロフィール	マスタ	備品購入申請	休暇申請
Identity User	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
Partner App Subscription User	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
Partner Community Login User	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
Partner Community User	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
Silver Partner User	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
Work.com Only User	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
カスタムユーザ	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
システム管理者	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
ソリューション管理者	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
マーケティングユーザ	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
契約 管理者	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
参照のみ	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
資料請求フォーム プロファイル	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
標準 Platform ユーザ	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
標準ゲスト	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト
標準ユーザ	ページレイアウト	ページレイアウト	ページレイアウト

③

名前	名前空間/プレックス	最終更新日時
workflow_equipment		2014/12/17 14:20:44
workflow_equipment_pdf		2014/12/08 15:11:17
workflow_equipment_view		2014/12/17 14:24:33
workflow_equipment_sfdc		2014/12/16 21:45:20
Workflow_search		2014/12/17 10:44:11
workflow_equipment_view_sfd		2014/12/17 15:52:11

④

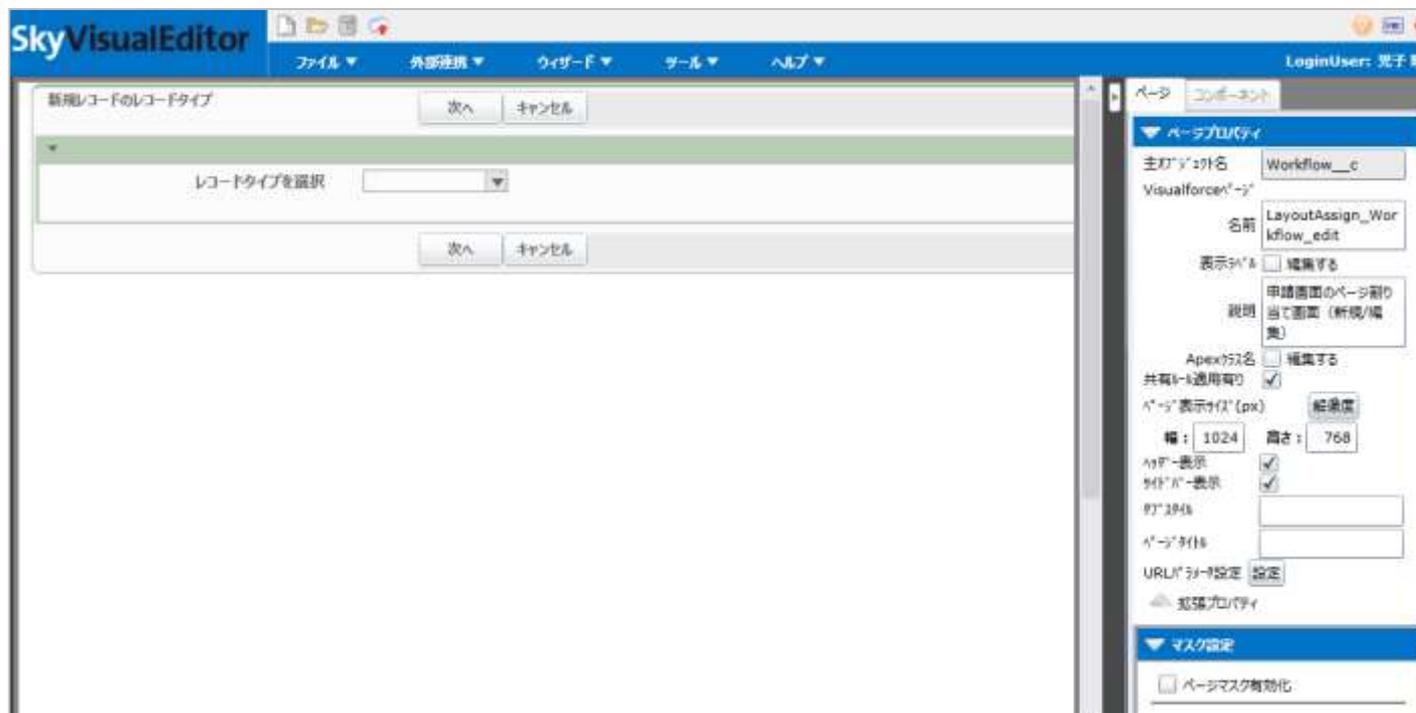
OK キャンセル

2. ページ割り当て（設定した画面の確認）

設定した内容にて、ページ割り当て画面が表示されます。

ページ割り当て画面は、画面を閲覧しているユーザのプロファイルとレコードタイプをもとに画面を振り分ける画面のため、ここで設定する詳細な内容は特にありません。

設定した割り当てを変更したい場合は、メニューバーの[ウィザード]より、[ウィザードに戻る]をクリックしてください。



1. オブジェクトの選択



2. ページ割り当て



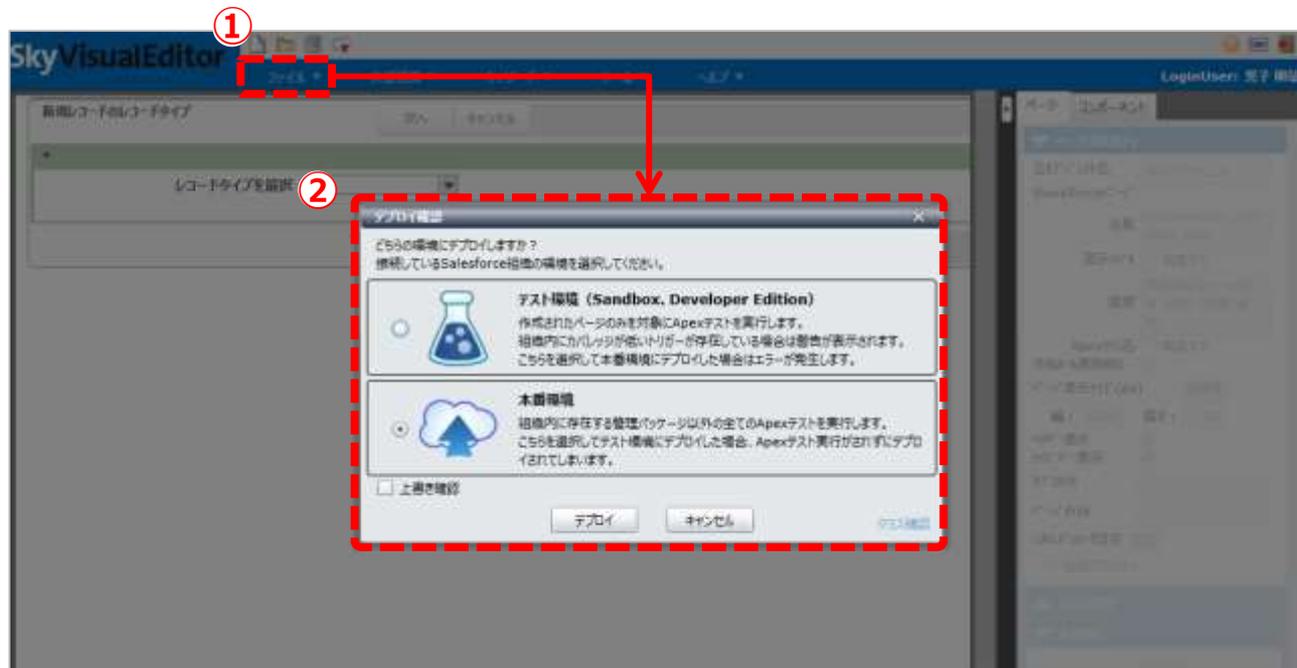
3. 画面のデプロイ



4. デプロイ後の設定

3. 作成した画面のデプロイ

メニューエリアの①の[ファイル]より、[デプロイ]を選択します。
選択しますと、②のダイアログが表示されますので、Sandbox環境やDeveloper Editionに画面を生成する場合は[テスト環境]を、本番環境へ直接デプロイする場合は、[本番環境]を選択し、[デプロイ]をクリックします。



3. デプロイした画面の確認

デプロイが完了しますと、[ページを開く]というリンクが表示されますので、クリックします。
Studioでデザインした画面を、Salesforceで確認できます。
以上で、ページ割り当て画面の作成は完了です。
次からは、デプロイした画面をSalesforce側で設定する方法について説明します。

レコードタイプ名	説明
休暇申請	休暇申請のレコードタイプ
備品購入申請	備品購入申請のレコードタイプ

1. オブジェクトの選択



2. ページ割り当て



3. 画面のデプロイ



4. デプロイ後の設定

4. デプロイ後のSalesforceの設定 (Visualforceページアクセス/Apexクラスの有効化)

SkyVisualEditorで作成したページは、Salesforceで画面を利用するプロファイル毎にVisualforceページ/Apexクラスのアクセスを有効化する必要があります。

Salesforceのユーザメニューより、[設定]-[管理者設定]-[ユーザの管理]-[プロファイル]を選択し、作成したページを有効化したいプロファイルをクリックします。

プロファイルページの「有効なVisualforceページ」、「有効なApexクラス」の[編集]より、有効化したいページとクラスを選択し、[保存]します。

※ Salesforceの標準ページレイアウトへ振り分けるユーザのプロファイルにも同様に設定が必要です。

The screenshot shows the Salesforce administrator interface. On the left, the navigation menu is open to 'プロファイル' (Profiles). The main content area shows the '有効な Apex クラス' (Enabled Apex Classes) section for a profile. A red dashed box highlights the '編集' (Edit) button, with a red arrow pointing to it. The right pane shows the 'Apex クラスアクセスを有効化' (Enable Apex Class Access) dialog. This dialog has two columns: '利用可能な Apex クラス' (Available Apex Classes) and '有効化された Apex クラス' (Enabled Apex Classes). The 'LayoutAssign_Workflow_edit' class is selected in the 'Available' list. The 'Enabled' list contains various Apex classes, including 'ChangePasswordController', 'ForgotPasswordController', and 'MyProfilePageController'. Buttons for '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) are at the top of the dialog.

4. デプロイ後のSalesforceの設定（標準ボタンの上書き）

作成したページ割り当て画面を、今回画面を作成した[申請]オブジェクトのボタンに上書きします。
 今回は新規・編集用のページ割り当て画面を作成したので、Salesforceの設定画面より、[アプリケーションの設定]-[作成]-[オブジェクト]-[申請]-[ボタン、リンク、およびアクション]を選択し、ボタン一覧の「新規」のアクション項目の[編集]をクリックします。
 編集をクリックした際に遷移する画面の[上書き手段]より、「Visualforceページ」を選択し、今回作成したページ割り当てのページを選択し、[保存]をクリックし、設定は完了です。

The screenshot shows the Salesforce setup interface. On the left, the navigation menu is visible with 'ボタン、リンク、およびアクション' selected. The main content area shows a table of actions for the '申請' object. A red box highlights the '新規' (New) action, and a red arrow points to its '編集' (Edit) button. The right pane shows the 'New' action configuration screen, where the '上書き手段' (Override Method) is set to 'Visualforce ページ' (Visualforce Page). The 'レコードタイプごとの選択可能なタイプ' (Record Type Specific Available Types) section shows 'ページ割り当て画面(新規/編集用)' (Page Assignment Screen (New/Edit)) selected.

アクション	表示ラベル	名前	説明	権限
編集 削除	PDF表示	PDF	詳細ページ	
編集 削除	SkyVisualEditorページ	SkyVisualEditor.page	詳細ページ	
編集	コード	Code		
編集	リスト	List		
編集	引継ぎ	Accept		
編集	削除	Delete		
編集	参照	View		
編集	新規	New		
編集	申請リブ	Tab		
編集	編集	Edit		

[参考] 4. デプロイ後のSalesforceの設定

本資料では、P.14で「新規・編集」用のページ割り当て画面を作成しましたが、参照（表示）用のページ割り当て画面を作成し、P.22で「新規」ボタンに上書きをしたように、参照の標準ボタンに作成したページ割り当て画面を上書くことで参照用の画面も、プロフィールとレコードタイプの組み合わせにより、画面の表示を切り替えることができます。

また、「新規」用の画面割り当てと「編集」用の画面割り当てを変更したい場合は、それぞれのページ割り当て画面を作成し、P.22で紹介した標準ボタン（新規ボタン、編集ボタン）にそれぞれ上書きする必要があります。

1. ページ割り当てについて

2. ページ割り当てを使った画面の作成方法

3. 作成した画面をつかってみよう

3. 作成した画面をつかってみよう

P.22で設定した新規ボタンをクリックした際の遷移イメージは以下の通りです。SkyVisualEditorで作成した画面を利用するプロファイルのみ、SkyVisualEditorで作成した画面が表示されます。



SkyVisualEditorで作成した画面

Salesforceの標準ページレイアウト



[参考] ページ割り当て画面に関するよくあるご質問

Q1. SkyVisualEditorのIDを割り当てていないユーザの画面が期待通りに開きません。

[回答]

SkyVisualEditorのIDを割り当てていないユーザにも、ページ割り当て画面のVisualforceおよびApexの有効化が必要です。設定については、P.21をご確認ください。

Q2. 遷移元画面にて設定したURLパラメータはページ割り当て時にも有効ですか。

[回答]

はい、有効です。遷移元のURLパラメータを引き継いで画面を表示できます。
URLパラメータの設定については、[第4回オンラインセミナーの資料](#)をご覧ください。

Q3. 運用時にプロフィール、レコードタイプを変更した際は再デプロイは必要ですか？

[回答]

はい、再デプロイが必要です。
ページ割り当て画面を利用している際に、プロフィールやレコードタイプを変更した際はお手数ですが、再度デプロイをしてください。

Q4. Sandboxでは設定できたが、本番に移行すると思うようにページ割り当てが効いていない。

[回答]

Sandbox環境と本番環境のプロフィール、レコードタイプに差分がないことをご確認ください。

お役立ち情報

- ・セミナー/イベント情報
- ・サポート窓口

SkyVisualEditorの事例を知る、体験する

- 1月23日（金） 14:00-17:00 「SkyVisualEditor紹介&体験セミナー」
(<http://www.terraSky.co.jp/event/2015/0123-001.php>)

SkyVisualEditorを学習する

- **SkyVisualEditor標準トレーニング**
SkyVisualEditorの基本的な機能を網羅したプライベート研修です。
標準トレーニングをご受講いただくことで、SkyVisualEditorの基本的な
操作手順をご理解いただけます。

[SkyVisualEditor標準トレーニング内容]

12万円/回（税別） 1回あたり4名様までご受講いただけます。

SkyVisualEditorの機能/設定に関するお問合せ

SkyVisualEditorのご契約者様は、以下の専用問合せページよりお問合せいただけます。
SkyVisualEditorの標準の機能/設定に関するお問合せは無償です。
また、別途、有償サポートのプランも用意しております。詳しくは以下問合せE-Mailよりお問合せください。

契約者様専用問合せページ：<https://terrasky.secure.force.com/ProductSupport>

SkyVisualEditorのご導入に関するお問合せ

SkyVisualEditorに関するお問合せは以下お問合せフォームおよびメールアドレス、お電話番号にて受け付けています。お気軽にお問合せください。

問合せフォーム：<https://www.terrasky.co.jp/contact/support/index.php>

問合せE-Mail：product.sales@terrasky.co.jp

問合せTEL：**03-5255-3411**

第10回 活用編 「AppComponentをつかってみよう」

2月10日（火） 15:30-16:00

<http://www.terrasky.co.jp/event/2015/0210-001.php>

第10回は、SkyVisualEditorの特徴的な機能の1つである「AppComponent」を紹介します。まずはAppComponentの導入として、概要や使い方を説明します。